

富山県成長戦略中間報告とりまとめ（抜粋）

第1章新たな課題とビヨンドコロナの新時代の成長戦略

2. 「真の幸せ」（ウェルビーイング）中心の成長戦略

- ・ 今後は、収入や健康といった外形的な価値だけでなく、キャリアなど社会的な立場、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて、自分らしく生き生きと生きられること、主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」（ウェルビーイング）を目指すことが経済成長の目的であり、手段でもある時代となり、新しい産業政策、新しい人材政策が必要となっています。
- ・ 富山県成長戦略の策定にあたっては、富山県の強みを最大限に活用し、弱みを克服することにより、富山県のウェルビーイングの向上を図り、次世代の価値を産む人材が富山に育ち、また、県外から引き寄せられて富山県に集積することを戦略の核に据えることとしています。
- ・ このため、「真の幸せ」（ウェルビーイング）の向上を目標に据えて、成長戦略の中核となる6つの柱に基づき、各種施策を検討します。

（成長戦略の中核となる6つの柱）

- ①真の幸せ（ウェルビーイング）戦略
- ②まちづくり戦略
- ③ブランディング戦略
- ④新産業戦略
- ⑤スタートアップ支援戦略
- ⑥県庁オープン化戦略

※ウェルビーイング (well-being) : 世界保健機関 (WHO) 憲章の前文において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態 (= well-being) にあること」と定義

第2章成長戦略の中核となる6つの柱

成長戦略の中核となる6つの柱について、施策の方針や方向性は次のとおり

1. 真の幸せ（ウェルビーイング）戦略

- ・ 産業政策の出発点となる人材集積を図るため、「新しい価値」「新しい産業」を生み出すことのできる人々が富山に育ち、定着するために、多様な人材が生き生きと暮らせる環境作りに取り組み、富山のウェルビーイングの向上を目指します。
- ・ 特に、若い女性のウェルビーイング向上のため、女性の多様性を認め、多くの女性の生の声を取り入れるなど、対話的な政策作りに取り組むとともに、男性の家事・育児への更なる参画など、女性を取り巻く環境へも働きかけることで、全ての県民が生き生きと自分らしく暮らせる、ウェルビーイングの高い富山を目指します。
- ・ 県民の活躍を支援するだけでなく、県外から富山を訪れる方々も温かく受け入れ、誰もが活躍できる文化を育むことで、人材交流を活発にし、世界で活躍できる人材を輩出するとともに、県外からの人材も活躍できる環境を作るなど、ウェルビーイングを通じた人材集積により、活力のある地域社会を作ることを目指します。

（2～6 略）